E765Z849H51

MITSUBISHI
三菱HID器具
形名 HP360.361 HP362.363
取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

保管用

お客さまへ

・ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

禁止	接触禁止	アースを取り付ける
分解禁止	水場での使用禁止	指示を守る

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性のあるもの。

器具の改造や指定部品以外の交換は禁止。 火災・感電・落下の原因	器具・ランプを水洗いしない。 火災・感電の原因	メタルハライドランプの場合、ガラスカバーをはずしたりガラスが破損したまま使用しない。 ランプが破損した場合けがの原因
ランプ交換・お手入れのときは電源を切る。 感電の原因	煙が出たり変な臭いがしたら、すぐに電源スイッチを切る。 火災・感電の原因	

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

お客様自身の電気工事は禁止。電気工事士などの資格が必要です。 感電の原因	器具表示の指定ワット（W）数を越えるランプは使用しない。 過熱して火災の原因	高圧ナトリウムランプ・メタルハライドランプ・HQIランプが点滅を繰り返したり正常に点灯しない場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。 火災の原因
点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたり、ランプを直視しない。皮膚炎症や高輝度のため目を痛める原因	ランプは直接素手で触れない。 汚れたまま点灯すると破損してけがの原因	点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。 高温のためやけどの原因
ランプの外管バルブが割れた場合電源を切り、ランプを交換する。 紫外線による障害や、破損・落下によりけがの原因	明るく安全にご使用頂くために半年に1回の保守・点検を行う。	ランプはソケットに確実に取り付ける。 不完全な取付けは落下の原因
屋外用ランプ以外の使用禁止。 ランプの破損によりけがの原因	ランプに塗料などを塗らない。 ランプが過熱、破損してけがの原因	ランプは落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えない。 ランプが破損してけがの原因

照明器具の寿命について

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部に劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

お 願 い

・ランプが点滅を繰り返したり、不点灯になったり、他のランプに較べ異常に暗くなった場合は、速やかに電源スイッチを切り、ランプを交換する。
・連続点灯でご使用の場合は1週間に1回以上消灯する。
・ランプは確実に取り付ける。ゆるんでいると点灯しないことがあります。

天井面取り付けの場合

壁面取り付けの場合

●メタルハライドランプをご使用の場合、あるいはランプに雨が直接当る可能性のある場合には、器具を15°以上傾けないでください。

適合ランプ

メタルハライドランプ	250W～400W	（反射形は除く）
高圧ナトリウムランプ	150W～400W（E39）	（反射形は除く）
水銀ランプ	200W～400W（E39）	（ボール形・反射形は除く）

HP360、HP361においてメタルハライドランプを使用の場合は必ずフッ素樹脂皮膜ランプをご使用ください。

破損をしたり、異常を感じた場合は直ちに電源を切り、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2－14－40
TEL（0467）41－2728（施設照明営業課）
TEL（0467）41－2773（品質保証部サービス課）

施工者さまへ

・施工の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みの上、正しく施工してください。
・取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性のあるもの。

引火する危険のある雰囲気（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、可燃性粉塵）で使用しない。火災の原因	取付方向指示のある器具は本体表示並びに取扱説明書に従い行う。 指定以外の取付けは、器具落下・感電・火災の原因	電源線は器具の外郭に直接触れないようにする。 過熱して火災の原因
器具の取付けは取扱説明書に従い行う。不確実な取付けは、器具落下・火災・感電の原因	安定器の二次側を器具に接続しないまま電源を投入しない。 電源が焼損し火災の原因	ランプは必ず指定方向の範囲で使用する。 指定以外で点灯するとランプが破損・落下し、けがの原因
電源の接続は取扱説明書に従い行う。 接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因	器具の取付けは重量に耐えるところに取り付ける。 落下の原因	器具の照射面は高温になります。近接限度内に可燃物（ドアや家具など）を近づけない。火災の原因
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。アースが不完全な場合は感電・火災の原因	施工は電気設備技術基準・内線規定に従い行う。	

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

高温（35℃以上）、粉塵、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所での使用禁止。 落下・感電の原因	狭い箱のような中での使用禁止。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない。器具が過熱して火災の原因	耐食形器具以外はさびの出やすい場所・腐食性ガスの出る場所で使用しない。 劣化による落下の原因
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災・感電の原因	電源タップ付き安定器の不要口出し線の先端は1本毎に確実に端末処理をする。火災の原因	使用地域の周波数に合った器具を使用する。 火災の原因

取付けかた

HP361・363の場合

①天井面または壁面にネジ（M10）でアームのネジ穴両端2箇所で固定してください。取り付けに不備がありますと、落下の原因になります。

②角度調整後、角度調整用ボルトをしっかりと締め付けてください。締め付けが弱いと器具の首たれの原因となります。

HP360・362の場合

ジョインター（別売）
AJ361
ホルダー
反射笠
押しねじ 付属
ロックナット 付属

①ホルダー付属の押しねじをジョインターの角パイプが挿入できる位置までゆるめてください。

②電源線とアース線を結線後ジョインターにホルダーを根本までしっかりはめ込んでください。

③押しねじでしっかりホルダーを固定してください。完全に締込みましたら、必ずもう一度増し締めを行い、ロックナットで固定してください。締め込みが不十分ですと落下の原因となります。

ランプ交換のしかた

①安定器に適合したランプをご使用ください。

②必ず電源を切ってください。

③パッキンを押し込むようにして、ランプを確実に取り付けてください。取り付けに不備がありますと、ランプの不点や、絶縁不良による発熱、火災の原因となります。

④ランプをはずすときは、ランプの根元を持ち、ソケットからはずれてから強く引き抜いてください。

NP6621